

兵庫県立考古博物館

NEWS Vol.16



Hyogo Prefectural
Museum of
Archaeology



2015 Autumn-Winter

特別展

王墓の埴輪

—池田古墳のすべて—

平成27年秋冬号

■特別展「王墓の埴輪—池田古墳のすべて—」	2
◆海外の古代体験事情—台湾・十三行博物館 考古生活フェスティバルから	4
◆今年は11月7日(土)に決定!全国古代体験フェスティバル2015	4
◆ほったんの紹介	4
◆古代中国鏡展示施設開館プレ企画展「千石コレクション 古代中国鏡の至宝Ⅱ」の開催	5
◆企画展「ひょうごの遺跡2016」	6
◆平成27年度ふるさと発掘展「国史跡多田銀銅山～銀山攻略第2巻 役所関連遺跡の調査～」	6
◆和田晴吾 新館長と石野博信 名誉館長	7
◆研究ノート「向山遺跡(姫路市)の調査成果」	7

平成27年度 特別展

「王墓の埴輪 一池田古墳のすべてー」

平成27年10月3日(土)~12月6日(日)

古墳が全国的に大型化する古墳時代中期に、突如として朝来市に現れる池田古墳は当時の山陰地方では最大の規模(全長134.5m)を持つ前方後円墳です。墳丘には円筒埴輪・壺形埴輪・朝顔形埴輪と家形埴輪・水鳥形埴輪をはじめとした多様な形象埴輪を含む数多くの埴輪が飾られていたことが近年の発掘調査により明らかになりました。

本展覧会では池田古墳の埴輪を一堂に紹介し、ヤマト王権中枢部の埴輪との比較や日本海地域の埴輪との共通性などを探ります。

プロローグ 池田古墳前夜

古墳時代前期、因幡地方、丹後地方では前方後円墳が築造されます。それに対し、池田古墳以前に但馬に築かれた首長の墓は「前方後円墳」ではなく、規模も大きなものではありません。プロローグではこの時期の首長墓である若水古墳(朝来市)、城ノ山古墳(朝来市)から出土した鏡を展示します。



池田古墳からは少なくとも25点の水鳥形埴輪が出土しています。これは全国的に見ても屈指の数です。

I 池田古墳出現

古墳時代中期になり、当時の日本海側で最大の規模を持つ池田古墳が出現します。池田古墳は墳丘の南北に造り出しと渡土堤を持つこと、様々な種類の埴輪を飾っていたことが調査で判明しました。こうした特徴は大和・河内地方の古墳に見られるもので、丹

後・因幡地方の影響を受けた埴輪も出土しています。ここではその例として奈良県巣山古墳(大和)の圓形埴輪・柵形埴輪・水鳥形埴輪、大阪府津堂城山古墳(河内)の水鳥形埴輪(レプリカ)、京都府小銚子古墳(丹後)の丹後型円筒埴輪を展示します。

II 池田古墳の埴輪

池田古墳を飾っていた埴輪群を一堂に紹介します。特に、南側造り出し・渡土堤では家形埴輪・柵形埴輪・圓形埴輪・水鳥形埴輪・船形埴輪・盾形埴輪・蓋形埴輪・鞍形埴輪など多様な埴輪が出土しています。また、南北の造り出しでは出土する遺物の種類が異なっていることも判りました。

これは畿内中央部の大王墓で始められた埴輪を用いた祭祀が池田古墳においても執り行われたことを示すとともに、よく判っていない大王墓の実態を垣間見ることのできる良好な例となっています。



池田古墳から出土した円筒系埴輪
(円筒埴輪・朝顔形埴輪・壺形埴輪)

Ⅲ 王とそれを支えた人々

それでは池田古墳に葬られた王とはどこに住んでいたのでしょうか。残念ながら、池田古墳と同時期の集落は見つかっていません。ただ、池田古墳の少し後に但馬地方を治めた首長が住んでいたと考えられるのが柿坪遺跡(朝来市)です。この遺跡では古墳時代中期の一般的な竪穴住居群に加えて、竪穴住居群とは溝で隔てられた区画に四方に庇を巡らせた入母屋造りの大型建物が複数建てられており、一般の村人と首長が別れて住んでいた状況が確認されています。また、渡来系の遺物や作られ始めたばかりの須恵器が出土しており、地域の中心的な集落であることが判っています。



池田古墳から出土した家形埴輪

エピローグ 池田古墳以後

エピローグでは池田古墳に続く但馬の王墓である茶すり山古墳と船宮古墳の埴輪を展示します。茶すり山古墳は武器・武具をはじめとする鉄製品や玉類などの豪華な副葬品で知られていますが、前方後円墳ではなく、円墳です。次の船宮古墳は再び前方後円墳となります。その規模(全長91m)は池田古墳に及びません。茶すり山古墳の時期には周辺地域でも同規模の大型円墳が築かれますが、船宮古墳の時期には池田古墳よりも大きな前方後円墳である雲部車塚古墳(篠山市)が丹波に出現し、日本海側におけるパワーバランスが変わったことが明確になるのです。

(学芸課 鐵 英記)



池田古墳から出土した家形埴輪

《展覧会関連情報》

【講演会】

会 場／当館講堂

時 間／13:30~15:00(12:50より整理券配布)

定 員／120名

参加費／無料

10月3日(土)

「ヤマト王権と但馬」

石野博信[当館名誉館長]

10月24日(土)

「池田古墳にみる埴輪の世界」

高橋克壽[花園大学文学部文化遺産学科教授]

10月31日(土)

「池田古墳について—調査・整理でわかったこと—」

山田清朝

[(公財)兵庫県まちづくり技術センター副課長]

11月14日(土)

「池田古墳と朝来地域」

田畠 基[朝来市教育委員会事務局次長]

11月21日(土)

「王墓の水鳥埴輪」

賀来孝代[(有)毛野考古学研究所]

【体験イベント】

「水鳥形埴輪フェルトストラップづくり」

日 時／10月12日(月・祝) 13:30~15:00

定 員／25名、要申込み(☎079-437-5564)

参加費／200円

※針を使うので小学校低学年以下は保護者同伴

「mini水鳥形埴輪づくり」

日 時／10月25日(日) 13:30~15:00

定 員／20名、要申込み(079-437-5564)

参加費／400円

【ふるさとウォーク】

「但馬王墓をめぐる」

日 時／11月15日(日) 小雨決行

行き先／池田古墳・城ノ山古墳

定 員／20名 要申込み(☎079-437-5564)

参加費／200円(保険料・資料代)

その他／和田山駅集合、解散

【博物館ボランティアによる紙芝居】

「池田古墳で大騒ぎ」

日 時／会期中の土・日曜日 13:00~13:30

※11月7日を除く

海外の古代体験事情

じゅうさんこう

台湾・十三行博物館 考古生活フェスティバルから

当館では毎年11月に、各地の博物館等の古代体験が集う「全国古代体験フェスティバル」を開催していますが、ここでは台湾で行われている同様のイベントをご紹介しましょう。

新北市立十三行博物館が主催する『新北市考古生活節(NEW TAIPEI CITY ARCHAEOLOGY FESTIVAL)』はとても大規模なイベント(参加者25,000人)です。

当館も平成24年から招待をうけ参加しており、今年は「池田古墳の埴輪モビール」を出展しました(4月25・26日)。朝来市の池田古墳から出土した水鳥形、家形などの埴輪の絵をはさみで切り、糸でつないでモビールにするというものです。最後は完成したモビールを持って笑顔で記念撮影。多くの方がモビールづくりを楽しんでくれました。

60あまりある他のブースをのぞいてみると、旧石器で有名な韓国の全谷史前博物館では、石器のレプリカに色塗りし、中国の湖北省博物館では、所蔵している青銅器の絵に色塗りをする体験がありました。海外での古代体験は、昔の人の暮らしを追体験するものより、色塗りなど小さな子どもたちでもできる手軽で楽しい体験が数多くありました。

(学習支援課 松岡 千寿)



完成了。笑顔でパチリ



石器のレプリカペンダントに色塗り

今年は11月7日(土)に決定！ 全国古代体験フェスティバル2015

今年は、11月7日(土)に当館で『全国古代体験フェスティバル2015』を開催します。全国各地の古代体験が大規模に集まるこのような機会は国内唯一といってよいでしょう。全国各地の約30の博物館などが自慢の古代体験メニューを披露します。昨年に引き続き、台湾の新北市立十三行博物館も参加予定です。

(学習支援課 松岡 千寿)



兵庫県立考古博物館マスコットキャラクター

「ほったん」が誕生しました！

生まれは兵庫県の北の方、紀元前2万8千年頃。大中遺跡に住んで、時々、博物館に出没しているよ。明石焼きとかつめし、イイダコが大好物。土のイヌと屋根の上の水鳥が友達だよ。魅力いっぱいのこ^{うこはくとぼく}のことをよろしく！ほるるん♪

古代中国鏡展示施設開館プレ企画展

千石コレクション 古代中国鏡の至宝Ⅱ の開催

平成28年1月5日(火)~1月24日(日)

平成26年度、加西市在住の美術品蒐集家千石唯司氏(株式会社千石 代表取締役社長)から古代中国鏡315面を中心としたコレクションが寄贈・寄託されました。当コレクションは、中国の二里頭文化期(約4,000年前)から宋代(約1,000年前)までの3,000年間にわたっており、古代中国鏡を連続的、かつ網羅的に覆う国内有数のコレクションです。

現在、このコレクションを広く県民の皆さんに見ていただきため、平成28年のオープンをめざして加西市の県立フローラーセンター内に展示施設の整備を進めています。それと同時に、古代中国鏡研究者や、文化財の理化学分析の専門家を委員とする「千石コレクション調査研究委員会」を設置し、素材や技法、歴史的意義について調査、研究を行っています。

プレ企画展の開催

昨年度、コレクションの一部を特別に公開したところ、大変な好評を博しました。そこで、今年度はさらに規模を拡充し、特別展示室全体を使って開館プレ企画展を開催することにしました。

展示施設がオープンする一足前に、貴重なコレクションを実感いただけるものと確信しています。鏡背面の限られた世界に古代中国の技術の粋を凝縮させた逸品の数々をご堪能下さい。

さらに、今回の企画展では現在準備中の展示施設の速報もお知らせします。X線を使った理化学分析の結果や、調査研究委員会で明らかになった事実、展示施設の完成予想図も一挙に公開。開館に向けて加速する様々な活動についても身近に感じていただけます。

(分館開設準備室 中村 弘)

写真の大きさは、ほぼ原寸



金珠玉象嵌宝相華紋六稜鏡 (唐)
(千石コレクション292号鏡 8.8cm)



鍍金珠玉象嵌宝相華紋鏡 (唐)
(千石コレクション290号鏡 5.8cm)

《主な展示資料》

豊富なコレクションの中から、物語性豊かな選りすぐりの逸品約40点を公開します。特に宝飾鏡と呼ばれる豪華な銅鏡は一見の価値あり。金をベースにトルコ石やメノウ、水晶、ラピスラズリ、真珠などで飾られ、まるで美しい宝石箱のようです(写真)。他にも四神や神獣が並ぶ重列式神獣鏡、オウムが描かれた螺鈿鏡も必見です。

企画展

「ひょうごの遺跡 2016」

—調査研究速報—

平成28年1月30日(土)～3月27日(日)

兵庫県が実施した最新の研究成果を紹介する企画展です。

今回、平成26年度刊行の発掘調査報告書9冊の中から主な遺跡を選ぶとともに、平成27年度の発掘調査成果も併せて取り上げます。

田井A遺跡(淡路市)では白鳳時代から平安時代にかけての水田と川の跡、鎌倉時代の村の跡が見つかりました。川の跡からは人形・船形をはじめ木製形代が数多く出土しており、近くに当時の役所跡がある可

能性が高い遺跡です。

九蔵遺跡(南あわじ市)は弥生時代から鎌倉時代にかけての集落遺跡です。特に奈良時代の遺構・遺物が充実しており、掘立柱建物24棟・製塩炉が発見され、墨書き土器や和同開珎銀銭、多数の製塩土器が出土しています。和同開珎銀銭は極めて限られた期間にしか作られておらず、県内の発掘調査で出土したのは初めてです。

(学芸課 鹿倉智美)



田井A遺跡 川から出土した人形



九蔵遺跡 製塩土器と和同開珎銀銭

平成27年度ふるさと発掘展 猪名川町制60周年記念事業

「国史跡多田銀銅山～銀山攻略第2巻 役所関連遺跡の調査～」

●期間／平成27年10月27日(火)～平成28年3月27日(日)

●場所／多田銀銅山悠久の館(川辺郡猪名川町銀山字長家前4-1)

多田銀銅山遺跡は奈良時代以来、銀・銅の採掘が知られる歴史的な鉱山遺跡です。遺跡のある猪名川町は今年60周年を迎ますが、この節目の年に、国指定史跡に指定されることになりました。

今回の展示は猪名川町の「多田銀銅山悠久の館」をメイン会場として、鉱山を支配した代官所・大坂口番所跡、そして実際の坑道と江戸時代の厳しい坑道作業の様子を紹介します。

(学芸課 山上雅弘)



いぶちだに まぶがたに
猪渕谷坑道群間歩ヶ谷支群2号坑道の坑口

和田晴吾新館長と石野博信名誉館長



和田 晴吾 新館長

「後任の和田晴吾です。皆さんと一緒に明るく元気に考古学をやっていきたいと思っています。よろしくお願ひします。」

石野 博信 名誉館長

「前任の石野です。8年間で目出度く“名誉”になりました。これからは月に1、2回ほど新館長との文化財談義を嬉しみます。」

和田 晴吾 新館長

【生年月日】 昭和23年1月17日

【出身地】 奈良県

【経歴】

京都大学大学院博士課程中退(昭和52年3月)京都大学助手(昭和52年4月)富山大学人文学部講師・助教授(昭和54年4月)立命館大学文学部助教授・教授(昭和60年10月)立命館大学退職(平成25年3月)立命館大学名誉教授・特任教授(平成25年4月)兵庫県立考古博物館館長(平成27年4月)

【趣味】 たいてい何でもおもしろい

研究ノート

むかいやまいまき

向山遺跡(姫路市)の調査成果

おおいちらのうまや
古代山陽道と大市駅家

向山遺跡は、古代山陽道に置かれた大市駅家の推定地です。

昨年度は駅家の施設が置かれた場所(駅館院)^{やっかんいん}の推定地の東側と北側を調査しました。東側では柱穴、南北方向の溝、瓦溜まり^{かわらだ}が見つかりました。南北方向の溝が駅館院の東辺と考えられ、瓦溜まりからは大量の瓦片^{ちょうはんじき}が出土しました。この中には長坂寺式と呼ばれる軒丸瓦と軒平瓦も含まれ、駅館院の設置された年代を推定する手がかりとなります。

北側では東西方向の溝、小川が見つかりました。東西方向の溝は、駅館院の北辺と推定され、小川からは須恵器・瓦が多数出土しています。

この成果を元に今年はいよいよ駅館院の中心部を発掘する予定です。

(学芸課 鐵 英記)



東側トレンチ全景(西から)

イベント・スケジュール

10月			
展	3	土	特別展「王墓の埴輪」開幕
講	3	土	特別展講演会「ヤマト王権と但馬」 石野博信(当館名誉館長)
体	4	日	古代の技に学ぶ かごづくりに挑戦!
イ	11	日	バックヤード見学ツアー
体	12	月祝	水鳥形埴輪フェルトストラップづくり
体	17	土	赤米をつくろう～稻刈り～
講	24	土	特別展講演会「池田古墳にみる埴輪の世界」 高橋克壽(花園大学 文学部 文化遺産学科教授)
体	25	日	mini 水鳥形埴輪づくり
展	27	火	ふるさと発掘展「国史跡多田銀銅山－銀山攻略第2巻 役所関連遺跡の調査－」開幕
講	31	土	特別展講演会「池田古墳について－調査・整理でわかったこと－」 山田清朝((公財)兵庫県まちづくり技術センター副課長)
11月			
イ	1	日	バックヤード見学ツアー
イ	7	土	全国古代体験フェスティバル 2015・第25回大中遺跡まつり
講	14	土	特別展講演会「池田古墳と朝来地域」 田畠 基(朝来市教育委員会事務局次長)
体	15	日	遺跡ウォーク「但馬王墓をめぐる」
講	21	土	特別展講演会「王墓の水鳥埴輪」 賀来孝代((有)毛野考古学研究所)
イ	22	日	バックヤード見学ツアー
体	29	日	ループ組紐・アクセサリー製作(基礎編)
体	29	日	ループ組紐・アクセサリー製作(上級編)
12月			
展	6	日	特別展「王墓の埴輪」閉幕
体	13	日	古代文字でカレンダーをつくろう

講…講演会 体…体験講座 イ…イベント 展…展覧会

■「テーマ展示解説」は特別展、企画展開催期間中を除く日曜日に実施。13:30~14:00

■「特別展展示解説」は特別展開催期間中の日曜日に実施。13:30~14:00

■「石棺に入ろう」は毎週土曜日、「古代船に乗ろう」は毎週日曜日に実施。14:30~15:30

1月			
体	2	土	考古博カルタ大会
体	3	日	スタンプ・ポン!紙で古代鏡づくり
展	5	火	古代中国鏡展示施設開館プレ企画展「千石コレクション 古代中国鏡の至宝II」開幕
講	16	土	最前線 2015「兵庫の出土鏡」 多賀茂治(当館学芸員)
講	23	土	古代中国鏡展示施設開館プレ企画展講演会「漢鏡とその作家たち」 岡村秀典(京都大学人文科学研究所教授)
展	24	日	古代中国鏡展示施設開館プレ企画展「千石コレクション 古代中国鏡の至宝II」閉幕
展	30	土	企画展「ひょうごの遺跡 2016－調査研究速報－」開幕
体	31	日	節分一鬼瓦のお面で鬼退治!
2月			
体	7	日	連続講座! 火焰型土器をつくろう①
講	13	土	最前線 2015「田井A遺跡の調査」 久保弘幸((公財)兵庫県まちづくり技術センター副課長)
体	14	日	連続講座! 火焰型土器をつくろう②
講	27	土	最前線 2015「宇野構遺跡の調査」 山上雅弘(当館学芸員)
体	28	日	ひなまつり－ハニワのおひな様をつくろう－
3月			
講	5	土	最前線 2015「丹波焼研究のいま」 長谷川 真(兵庫陶芸美術館所長補佐)
講	12	土	発掘調査速報会
イ	13	日	バックヤード見学ツアー
イ	20	日	考古博であそぼう
イ	21	月祝	考古博であそぼう
講	26	土	最前線 2015「中世後期の流通」 岡田章一(当館学芸員)
展	27	日	企画展「ひょうごの遺跡 2016－調査研究速報－」閉幕
展	27	日	ふるさと発掘展「国史跡多田銀銅山－銀山攻略第2巻 役所関連遺跡の調査－」閉幕

■体験講座は予約が必要です。実施日の2か月前開始 TEL079-437-5564(学習支援課)

■イベントについての詳細情報は当館ホームページ・チラシでご確認ください。

兵庫県立考古博物館NEWS vol.16 2015 Autumn-Winter

発行年月日 平成27年8月30日

編集・発行 兵庫県立考古博物館

〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1

TEL.079-437-5589

FAX.079-437-5599

<http://www.hyogo-koukohaku.jp/>

●電車をご利用の方／JR土山駅南口から「あいのみち」を徒歩15分
山陽電車播磨町駅から喜瀬川沿いを徒歩25分

●お車をご利用の方／第2神明・加古川バイパス明石西ICから約3km

■駐車場／町営大中遺跡公園駐車場・野添であい公園駐車場をご利用ください(普通車1回200円)

■休館日／月曜日(祝休日の場合は翌平日)・12/24~1/1

12/24~30はメンテナンス休館

触れる・体感する、考古学のワンダーランド

兵庫県立考古博物館

